

## 強力なバックアップ —— 池野先生への感謝

辻 直人 *Tsuj Naoto*

池野先生、5年間の本学でのお働き、本当にありがとうございました。私は先生と同じ2018年度に本学に着任いたしましたので、先生とは、僭越ながら、「同期」として親近感を覚えていました。特任というお立場ではあり、研究室も別棟でしたので、それほど頻繁にお目にかかることはなかったかもしれませんが、それでも、授業の合間の移動時間に校舎内ですれ違うこともしばしばで、その度になにかやかに挨拶をしてくださって、心が温かくなるような気がしました。

初等教育課程会議の席では、ご自身の授業での学生の様子などを丁寧に報告してくださり、よく学生を見ておられるのが分かりました。また、複数の目で学生を育てていくための連携の大切さを教えてくださったと感じています。授業では、学校インターンシップをご一緒させていただきました。先生はいつも太めのサインペンで目立つように、はっきりメモを取られていたのが印象的でした。

先生は本学だけでなく、高崎などいくつかの大学で非常勤講師を現在もお勤めとのこと、ご自宅は新潟とうかがっていますから、毎週相当な距離の移動をされていたことと思います。お車の移動も大変だったかと想像いたします。私もかつて北陸に住んでいたことがありますので、冬場は特に雪など日本海側と太平洋側の気候の違いで、長距離運転の難しさを感じることもあったのではないのでしょうか。一方で、運転に慣れていることは、後でも触れますが、先生の運転する車に同乗させていただいたことで、よく分かりました。

先生は地元新潟の国公立小学校での教員生活を経て、高崎の大学で30年近くお勤めになったとうかがっています。前職では学科長や教職課程運営委員長なども歴任され、名誉教授のお立場でもあるとのこと。大変な業績をお持ちにも関わらず、本学では決して出過ぎず謙虚で、後方から本学初等教育課程の教育実践をサポートしてくださっていました。

スポーツにしても、あるいは教育活動にしても、複数で1つの物事に取り組む時は、前面に出る人には必ず後方に回ってバックアップする人が必要です。後方に安心できる援軍がいることで、前面に出ている人は率先して前に向かって進んでいきます。「チーム学校」という協力体制の重要性がよく叫ばれますが、先生のようにあらゆる状況を経験された方が後方にいていただけるだけで、どれだけ安心感が漂っていたことか。初等教育課程が開設以来徐々に軌道に乗って学生が育ち、教採合格者も年々増加して教育の成果が上がってきているのも、先生のような強力なバックアップがあったからこそと思います。改めて、先生のバックアップに感謝申し上げます。

不勉強で、先生は算数・数学教育の研究を専門にされているとばかり思っていました、

最近になって、実は先生の元々の研究分野は教育史教育哲学だったとうかがい、驚いたと同時に、日頃から感じていた親近感の根源はここにあるのかと納得しました。というのも、私自身の専門分野とも重なるので、教育への根源的な関心に通底するものがあつたのだらうと思います。大学院修士課程では教育史教育哲学研究室でボルノーを研究されていたとのこと。私も自分の授業でボルノーをよく扱いますので、普段から研究のお話をもっと出来たらと今更後悔しています。国公立の教育現場に長くおられた一方で、和光の小学校教育にも理解を示されていたのは、こうした研究の土台があつたことだと思います。教育研究における幅広い見識と柔軟性の大切さを、先生の姿勢から学ばせていただきました。今回の特別企画に投稿された先生の論文も、教育学理論を丁寧にまとめてくださっていて、とても参考になりました。また、学生へのアドバイスは、今後指導を引き継ぐ私達教員も肝に銘じたいと思います。

昨10月末、学校インターンシップの学外実習旅行で学生26人を沖縄に引率した際、先生とレンタカーで行動をご一緒できたことは、本当に忘れられない思い出になりました。

前回(2019年)の引率の際、体調不良の学生を別行動させる必要があつたのですが、公共交通機関での移動だと時間の制約が大きすぎるのが分かり、この時の反省を生かして、万が一の学生対応用として、マイクロバスとは別にレンタカーを1台借りることにしました。ただ、車を運転できるのは私と池野先生だったため、全行程を2人で(途中、具合が悪くなった学生を乗せて3人の時もありましたが)、バスを追いかけつつドライブさせていただきました。本来なら交替しながら運転のはずが、結局ほとんどの運転を池野先生が引き受けてくださって、本当に助かりました。おかげで、私はバスとの連絡を取ることに専念もできました。また、何より運転中の会話の楽しかったこと。学内とは違って、とてもこやかに、笑いの絶えない車内でした。先生の豊富なご経験から、様々な大学の様子もうかがえて、改めて大学教育の在り方も考えさせられました。旅行中の記録写真も実に詳細に撮影してくださり、大変助かりました。

先生の温和な雰囲気にも、とても助けられた5年間でした。今後は健康に留意されて、お元気にお過ごしください。ありがとうございました。